

## JCA 競技規則 (2022.11 版) 改正・ 2022-23 シーズン試行ルールの解説

(公社) 日本カーリング協会 競技委員会・審判部

2022.11

以下の文章で、緑色の取り消し線で示された部分は改正版から削除されるもの、赤色の下線で示された部分は改正版に追加されるものを表す。

### WCF ルール Oct. 2022 での変更を受けた改正

#### <R16. ミックスダブルスカーリング>

- (l) エンドをやり直す場合、やり直す前のエンドでの選択(ストーンの配置・投球順)がそのまま適用されなければならない。

ミックスダブルスでエンドをやり直す際の規定が追加された。

#### <C1. 一般事項>

- (b) WCF 理事会は、チームや加盟協会の大会への参加が大会に損害を与える、あるいは参加者や大会の秩序を危険にさらすと判断した場合、チームや加盟協会を WCF 主催大会から除外することができる。JCA 主催大会では、必要に応じ判断を行なう。

(以降の項を繰り下げ)

今年 2 月に WCF 理事会によって緊急的に追加されたルールが掲載された。

#### <C2. 参加チーム>

- (e) 日本ジュニアカーリング選手権およびその予選大会に出場するためには、プレーヤーは選手権が開催される前年(選手権が 12 月までに開催される場合は同年)、その大会の成績によって出場権の得られる世界ジュニアカーリング選手権の開催日前で直近の 6 月 30 日現在で 21 歳未満でなければならない。

世界ジュニア B カーリング選手権が 12 月開催に変更されたことを受けた変更。該当する年齢制限の範囲は従前の WCF/JCA ルールと変わらない。また、年齢制限の基準となる大会が世界ジュニアカーリング選手権であることを JCA ルール上で明確化した。

#### <C6. 計時>

- (j) ... ブレーク時間は通常以下の通りである。  
(i) 項下記(ii)の場合を除き、エンドが終了した時点で 1 分間。 ...

参照する項の表記の変更。

### <C9. 順位決めの手順>

(e) (v) ~~(i)、(ii)、(iii)~~(i)、(iii)、(iv)に該当するチームが複数の場合、チームは DNS、DSQ、DQB の順に記載される。

昨年追加された(e)項(ii)が、本項に該当しなかった点を修正。

### <C10. 審判>

(f) ...。審判の裁定に対してアペールがある場合は、審判長(不在時は審判長職務の代行者)の裁定が最終決定である。

審判長が職務を外れている際の最終決定者を明確化した。

## JCA ルールの明確化

### <C2. 参加チーム>

(f) 日本シニアカーリング選手権およびその予選大会に出場するためには、プレーヤーは選手権、その大会の成績によって出場権の得られる世界シニアカーリング選手権が開催される前年(選手権が12月までに開催される場合は同年)の6月30日現在で50歳以上でなければならない。

年齢制限の基準となる大会が世界シニアカーリング選手権であることを JCA ルール上で明確化した。

## 2022-23 シーズン試行ルール

本ルールは「2022-23 シーズンの試行ルール(ノーティックルール)の適用について」(2022年10月5日付発行)で書かれたものの再掲であり、WCF/JCA のルールブックには記載されない。本ルールはミックスダブルス・車いすミックスダブルスでは適用しない。

エンドの6投目をデリバリーする前に、デリバリーしたストーンが、フリーガードゾーン内でセンターラインに触れている相手チームのストーンを直接的あるいは間接的にセンターラインに触れていない位置やフリーガードゾーンの外に動かした場合、違反をされたチームは以下の中から一つ選ぶことができる。

- 1) デリバリーされたストーンを取り除き、動いたストーンを全て違反が行われる前の位置に戻す。
- 2) 全てのストーンをそのままにしておく。

上記試行ルールの適用を受け、R2(i)を以下のように読み換える。この変更は JCA のルールブックには記載されない。この変更はミックスダブルス・車いすミックスダブルスでは適用しない。

## <R2. ストーン>

- (i) いかなるストーンも、そのエンドのラストストーンが静止するまで、目視でのみ測定してもよい。ただし、ストーンがインプレーかどうか決定するとき、あるいはエンドの第 2 投、第 3 投、第 4 投、第 5 投の前にフリーガードゾーンにあるか、またその時ストーンがセンターラインに触れているかどうかを決定するときはこの限りでない。

上記試行ルールは、フリーガードゾーン内でセンターラインに触れている相手チームのストーンがプレーエリア外に出された場合には言及していない。その場合、通常のフリーガードゾーンルール違反(R6(b))に該当するため、全てのストーンをそのままにしておく、という選択肢を取ることとはできないことに注意すること。